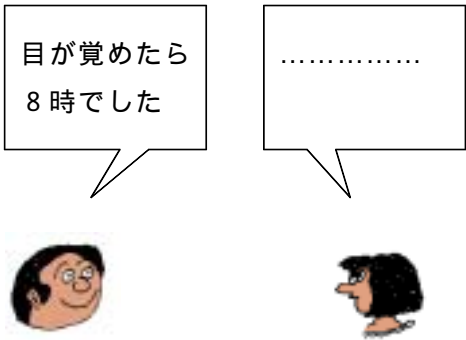



Lesson 3 基本的聴き方技法

Work5 聴き方トレーニング

コミュニケーションでは、受け手の聴き方が、話し手の話に大きな影響を及ぼします。コミュニケーションに責任を負うのは、決して話し手だけではなく、話し手と聴き手の双方なのです。

- ① 3人組になり、1回目の話し手 聴き手 観察者を決めます。
- ② 話し手と聴き手は、90°の角度になるように座ります。観察者は二人が見えるところに座ります。
- ③ 話し手は、昨日の目覚めてから寝るまでのことを、できるだけ詳しく話します。ただし、話したくないことは、カットします。
- ④ 聴き手は、次の指示に従って聴きます。
- ⑤ 観察者は、二人のやりとりを観察します。
- ⑥ 各ラウンドが終わるたびに、「コミュニケーション チェックシート」に記入します。

| | |
|----------------------------|---|
| 第1 R (30秒) | |
| 黙って、うなづいたりもせず、一生懸命にひたすら聴く。 |  |

| | |
|--|--|
| 第2 R (1分) | |
| 首を縦に振ってうなづいたり、「ふんふん」「へえ」「そう」「それから」などの短いあいづちを打ちながら聴きます。 |  |

第3 R (1分30秒)

うなづぎ、あいづちに加えて、話のポイントだと思う所を、話し手の言葉の通りに繰り返したり、自分なりに言い換えたりしながら聴きます。

教室に入ると同時にベルが鳴りました



そう。うまく間に合ったんですね



第4 R (2分)

うなづぎ、あいづち、繰り返し、言い換えに加えて、話を聴きながら、適当な所で質問をします。(話し手は、できるだけ答えます。ただし、答えたくないことは、「答えたくありません」と言います)

1時間目は国語表現の授業です



1時間目の授業は何だったんですか



⑦全員が、話し手 聴き手 観察者を体験します。

⑧体験したことを話し合います。
